



日本最南端の自然文化都市



ISHIGAKI



優雅な箏曲の調べ その流れをたどる 舞台芸能としての箏曲

十三の弦を奏でて演奏される箏曲の音色は、優雅さが漂っています。日本では近世以来、「箏（そう）」の別名を「琴（こと）」といったために琴と箏との区別が微妙になっております。

字新川にお住まいの宮良まさみさんは四十年近くの間、箏曲の鍛練を積み重ね、また、後進の指導にも力を注いでこられました。

また、昭和62年から3度にわたって発表会を開催し、箏曲の普及に努めました。

今月は箏曲（そうきょく）が沖縄本島や八重山へ伝来していった経緯、伝統芸能としての広がりなどについて紹介します。

宮良まさみさん（字新川）

■ 今月の主な内容

地域づくりを考えるつどい… P 2 この一年間をふりかえる… P 4
 救急業務30周年記念式典… P 2 箏曲の調べにのせて… P 7
 2000年問題に備えよう… P 3 市立幼稚園児募集… P 8

1999年 12月号
 No. 338

（平成11年12月20日発行）

人口と世帯数

総人口 44,444 (+49)

男 22,307 (- 2)

女 22,137 (+51)

世帯数 16,955 (+37)

（平成11年10月末日現在）

各地区の実情に応じた計画を策定 「あすの地域づくりを考えるつどい」を五地区で開催



各地域の課題や要望について話し合われた会場

石垣市は市民の要望やアイデアをまちづくりに反映させるため、「市民と市政を結ぶ―あすの地域を考えるつどい」を十一月十六日から三十日までの間、五回に分けて開催しました。

このつどいは、各地域の問題について、市民からの情報や生の声を聞くとともに市の施策の考え方を市民に説明することを目的に開催されたも

のです。

また第三次石垣市総合基本計画策定に向けて、多くの市民から意見や要望を取り入れ、市民と行政との相互理解と協力によって計画的なまちづくりを進めるために行われました。

集いは、市内を五つのブロックに分けて伊原間、川平、三和、大浜、大川の各公民館で開催され、市役所からは大濱市長をはじめ三役、教育長、各

部長等が出席し、各地域の市民生活に関わる身近な問題などについて様々な意見や要望が寄せられました。

石垣市においてはこれまで二次にわたる総合基本計画を策定し実施してきましたが、現在進められている第二次総合基本計画が平成十二年度で終わることから、新たな計画を策定する必要が出てまいりました。

そのため、新世紀のまちづくりの指針となる第三次総合基本計画（二〇〇一年～二〇一〇年）の策定に向けて、諸作業を進めています。

初日は北部地区の住民を対象に伊原間公民館で十二地区の公民館長と六十人の地域住民を集めて行われ、過疎に悩む各地区住民から、雇用の場の確保、防災無線の整備、救急車の配置、平久保半島東線の整備、生活環境基盤整備など身近な問題をはじめ若者の定住による地域活性化に向けたリゾート開発の促進などの要望が相次ぎました。

大濱市長は、各地区の実情に応じた計画策定を進める考えを表明しました。

石垣市消防本部の救急業務開始三十周年記念式典が十二月一日、石垣市民会館中ホールで開かれ、約二百人余の関係者が出席しました。

石垣市は、昭和四十四年に日本民主同志会（京都）から救急車第一号（いすゞエルフ）の寄贈を受け、県内市町村に先立って救急業務を開始しました。

また、八重山病院との連携



救急業務の節目を記念して開かれた式典

救急業務に携わる関係者を激励 救急業務開始三十周年記念式典を開催

石垣市消防本部

や救急救命士の養成、消防緊急通信指令装置を設置して住民の命を守り続けました。三十年間の搬送人員は、これまでに合計二万八千九百九十四人を救えました。

記念式典で大濱市長は「市民の生命、身体、財産を守ることは市政における最大の責務である。自治体消防に課せられた使命は重大である。三十周年に積み重ねた貴重な成果と教訓を礎として地域住民の安全を守るといふ使命達成のため精励したい」と式辞を述べました。

続いて功労団体及び功労者に対する感謝状の贈呈が行われ、小底嗣洋石垣市議会議長、西島本進竹富町長、木場一寿八重山支庁長、伊江朝次県立八重山病院長が祝辞を述べました。最後に沖縄県消防協会八重山地区から市消防本部に記念品として救急蘇生講習セットが贈られました。

2000年問題 もしもの場合に 備えましょう



年末年始は、コンピューターの誤作動が心配されており、金融やエネルギー、情報通信、交通、医療などの分野では機器類の保守点検、試行操作など混乱を未然に防止するための対策が進められております。

世界的にこの問題への対応が行われており、何らかのトラブルが発生した場合に備えて、各家庭において次の準備をすることを勧めます。これらのことは、地震、火事、台風などの一般の災害にも共通するものです。

幸い二〇〇〇年問題が大きな影響を及ぼさなかったとしても、もし備えずに心配される事態になった場合、困難な状況に陥ってしまいます。

次の内容については各家庭によって多少異なると思いますので、あなたの環境や状況に合わせて変更して下さい。

水

飲料用水にはミネラルウォーターを準備しましょう。

水道水はポリタンクなどに備蓄しておきましょう。

前日までに風呂桶に水をためておきましょう。水洗トイレ用色々なことに使用できます。

食糧

保存のきくものを多く準備しましょう。冷蔵庫などは使えないかもしれせん。

調理器具

炊飯器、電気ポットは停電

時には使えませんが注意しましょう。

暖房

少々の寒さは厚着でしのげますが、準備を怠りなく。

ラジオ

乾電池で聞けるものを用意しましょう。

明かり

懐中電灯(予備の乾電池と電球も準備しましょう)

燃料・エネルギー

プロパンガスはボンベを満タンにしておきましょう。また乾電池も準備して下さい。

現金

一定額の現金を手元においておきましょう。硬貨も大目に確保しましょう。(必要以上の現金を引き出すことは、混乱の元になるので控えましょう)。

また、預金通帳に最終残高を記載しておきましょう。

公共料金やクレジットも

毎月の支払いの領収証を取っておきます。これはシステムトラブルによる間違った請求

を訂正するとき役に立ちます。

医療・医薬品

かかりつけの病院の二〇〇〇年問題対応状況を聞いてみましょう。常備薬が不足しているもの、有効期限が切れているものがあれば揃えておきましょう。(個人薬はあらかじめ、主治医に多めにもらっておきましょう)

衛生用品

トイレトペーパー、石鹸、洗剤等を用意しましょう。

乗物

自動車、バイクなどは満タンにしておきましょう。

パソコン

メーカーに電話で確認するか、ホームページを見て対応しておきましょう。重要な情報(住所録など)は印刷しておきましょう。

電話

二〇〇〇年一日一日に電話が通っているかと確認するのはやめましょう。この行為のために電話が通じなくなります。

2000年問題で 市街地を パトロール

石垣市消防本部

石垣市消防本部では、二〇〇〇年問題に備えて年末年始の時間帯に市街地において警戒パトロールを行います。

パトロールを実施するのは十二月三十一日午後十一時から午前一時までの二時間です。

二〇〇〇年問題ではコンピューターが誤作動を起こし、市民生活に影響がでることが心配されています。

パトロールは、救急業務や火災消防対策を万全に行うために市内二カ所において実施します。当日は消防本部や各分遣所において職員が待機します。

また各地域の消防団員も自宅での待機を行います。

写真でふりかえる

石垣市この一年

石垣市では、新世紀へのまちづくりの骨格となる第3次石垣市総合基本計画策定へ向けた取り組みを開始しました。また、介護長寿課を新設して介護保険制度に備えました。

さらに、米国ハワイ州カウアイ市と姉妹都市を締結し、更なる国際交流の輪を広げました。

今年一年間の出来事を写真と年表でつづります。



▶「新石垣空港建設位置選定委員会」発足



▶「あすの地域を考えるつどい」を市内五ヶ所で開催



▶ハワイ州カウアイ市と姉妹都市締結調印式を開催

13日	10日	6日	5日	4日	1日	3月	19日	17日	16日	12日	12日	8日	2月	30日	29日	26日	22日	21日	20日	18日	18日	15日	14日	11日	10日	4日	4日	1月		
石垣プラン推進市民フォーラム	消防車両が贈呈される	石垣第二中学校運動場開き	市社会福祉大会	名蔵ダム除幕式	ワンストップ行政サービス開始		石垣空港災害訓練	学校図書館情報教育事業開通式	旧正生年祝頌状伝達式	いしがき未来塾メンバーが宮古島で開かれた研修発表会に参加	根領夫市長が市民と交流	親善都市岡崎市から使節団が来島し、中		心の健康フェスティバル	市民四万四千人突破セレモニー	京、清水エスパルス、コンサドーレ札幌がキャンプ（2月中旬まで）	千人であると観光課が発表	一九九八年の年間観光客数が五十一万七	トライアスロン残暦板を設置	「八重山の物産と観光展」を岩手県で開催	八重山支庁長に木場一寿氏が着任	パンフレットを配付	災害とボランティア週間を啓発するため	成人式	和牛初セリ	観光協会がホームページ開設	新春千人ラジオ体操市民のつどい	新年祝賀名刺交換会	仕事始めの式	
19日	16日	10日	10日	2日	5月	30日	29日	27日	24日	19日	19日	18日	4月	12日	11日	11日	8日	1日	1日	1日	29日	31日	29日	27日	24日	21日	16日			
真鍋環境庁長官が来島しアンパルなどを視察	石垣市一般廃棄物最終処分場供用開始	春の交通安全運動出発式	おはようロマンメッセ開始	吉原小学校体育館完成	第三次総合計画策定へ向けて「まちづくり職員研修会」を開催	石垣島和牛改良組合通常総代会開催と決定	白保公民館地縁団体認可証交付	明和の天津波遭難者慰霊祭	家庭児童相談員委嘱状交付式	認定農家認定証交付式	説明会を開催	八重山修学旅行誘致委員会が本土各地で		ワールドカップに出場した各国の選手が市内各小中学校を訪問し、児童生徒と交流を深める	大会とファミリー大会開催	四度目のトライアスロンワールドカップ	コースに「花文字」を設置	八重山農林高校の生徒がトライアスロン	石垣市定期人事異動	年度始め式		市障害者福祉計画策定委員会が市長へ答申	石垣農業水利事業所が業務完了	創立総会	「株バインアップブルーアイランド石垣島」	市史編集委員会	広域芸能フェスタ	海開きセレモニー	地域振興券交付開始	

▶白保台一氏が沖繩開発総括政務次官に就任し、行政視察のため来島



▶介護保険制度へ向けて介護長寿課を新設しました



▶石垣市の人口が四万四千人を突破し新生児を招いてセレモニー開催



▶九州各県九十三名の市長が参加して九州市長会が開催されました



17日 国際子ども民謡芸能フェスティバル(台湾)

15日 き「九州・沖縄サミット講演会」を開催

10日 県サミット推進室の山田事務局長を招

8日 世界平和の鐘沖繩県支部定期総会

8日 夏交通安全県民運動出発式

6日 産業医委嘱状交付

6日 社会を明るくする運動(大浜地区)

5日 市特産品振興協同組合創立総会

5日 「行ってよかった観光地」日本一を記念して祝賀会を開催

1日 石垣市まちづくり審議会が発足

18日 平和の願い作文表彰式

23日 慰霊の日平和祈念式典平和の鐘打式

25日 地区産業安全管理推進大会

17日 ハーリー

11日 市民憲章推進協議会総会

8日 社会を明るくする運動実施委員会

13日 地区身体障害者スポーツ大会

16日 「ジャラン七月号」に「行ってみたい観光地」に石垣島が第一位に選定される

2日 「八重山観光感謝のつどい」を台湾で開催

3日 三度目の台湾直行便となる「台湾友好親善チャーター便」が出発

31日 介護保険制度説明会

31日 公共事業説明会

31日 松下農林水産政務次官来島視察

29日 八重山平和祈念館開館

28日 沖繩戦強制疎開マラリア犠牲者援護会解散総会

25日 九州市長会を開催(27日まで)

21日 石垣市商工会通常総会

21日 石垣市体育協会総会

21日 市小口資金融資の貸付契約調印式

7月

23日 介護保険認定委嘱状交付

22日 トウバラマ大会

20日 認定農家認定証交付

16日 石垣島トリアスロン大会組織委員会総会

16日 白保さんご確保研究センター起工式

15日 敬老会

14日 石垣島周辺海域環境保全対策協議会設立総会

14日 国際平和の日平和の日祈念鐘打式

14日 クルーズ船バイセス号入港式典

13日 石垣港水深九米耐震岸壁フェリーふ頭起工式

6日 さとうきび運動地区別説明会

3日 「チーム未来」発足式委嘱状交付

1日 在宅介護食ボランティア講習会

18日 新石垣空港建設位置選定委員会・委嘱状交付式と全体会議開催(30日は候補地視察)

17日 安全で住み良いまちづくり推進協議会委嘱状交付式

15日 「終戦記念日」平和記念鐘打式

11日 石垣-台北間航空路線開設促進協議会が関係省庁へ要請

10日 道の日道路愛護普及キャンペーン

4日 「八重山高校」と富村万里代さん(石垣第二中学校)を平和大使として派遣

1日 観光週間クリンアップキャンペーン

4日 「広島平和祈念式典」へ當山絵里さん(八重山高校)と富村万里代さん(石垣第二中学校)を平和大使として派遣

31日 友好都市スポーツ交流

28日 四箇字豊年祭

23日 石垣市港湾振興会総会

20日 石垣港祭りを開催

20日 宜蘭県へ参加のため少年の船一行が出発

8月

9月

市立保育園と認可保育園の 園児募集

平成12年度保育所（園）児を下記により募集しますので、入所（園）を希望される方は必要な書類を添えて石垣市役所の児童家庭課・保育係へ申請して下さい。

【入所基準】家庭内で保育できない児童。

【手続きに必要なもの】

- ①保育所入所申込書 ②印鑑 ③住民票謄本 ④市税課税証明書：保育所関係・平成11年度 ⑤源泉徴収票・確定申告の控（平成11年分） ⑥勤務証明書 ⑦その他必要書類

①保育所入所申込書と⑥勤務証明書の用紙は児童家庭課に備えてあります。伊原間保育所と川平保育所への入所を希望する方は④市税課税証明書と⑤源泉徴収票・確定申告の控は必要ありません。

【受付期間】平成12年1月11日（火）から平成12年2月11日（金）まで

*障害児保育を希望される方は、1月28日（金）までに申込み下さい。

*平成11年度の申請書は平成12年度には使用できません。

【へき地保育所】「伊原間保育所」「川平保育所」はへき地保育所です

【ゼロ歳児】ゼロ歳児は下記の保育所において6名づつ募集しております。

- ①大川保育所 ②登野城保育所 ③石垣保育所 ④新川保育所 ⑤オリブ保育園 ⑥あいの保育園 ⑦エンゼル保育園 ⑧やしの実保育園⑨みよし保育園

【問い合わせ】

石垣市役所児童家庭課 ☎2-1704

入所できる保育所（園）と定員

保育所（園）	所在地	定員
市立 保育所	大川保育所	大川70 120
	登野城保育所	登野城 890-12 60
	石垣保育所	石垣481 60
	新栄町保育所	新栄町7 60
	新川保育所	新栄町 75-30 60
	伊原間保育所	伊原間20-4 30
	川平保育所	川平907 30
認可 保育所	オリブ保育園	平得74 120
	あいの保育園	大川177 60
	エンゼル保育園	新川300-1 60
	やしの実保育園	大川577-2 90
	みよし保育園	新川362-5 60

▶災害に強い石垣港をつくるため「水深九メートルの耐震岸壁を着工



▶一般廃棄物最終処分場が完成しクリンセンター等とともに一体型の処理施設を整備



1日 石垣市特産品振興協同組合開所

11月

31日 石垣市綱引き大会

26日 白保沖縄開発政務次官来島

23日 市史編集委員会

18日 人権の花運動（明石小と真喜良小で運動開始・26日）

15日 と布施茂さん来市

13日 稚内市との職員相互交流で佐藤伸一さん認可

6日 運輸省が石垣―台北間航空チャーター便締結記念式典

5日 カウアイ市（米国ハワイ州）と姉妹都市

4日 米国ハワイ州カウアイ市のマリアン日下市長他五名が来島

3日 大浜中学校プール起工式

1日 市民憲章クリーンアップ作戦実施

1日 赤い羽根共同募金スタート

1日 食肉センター総会

1日 比屋根毅氏学校図書贈呈式

1日 「石垣市ごみの散乱防止条例」を施行

10月

9日 地区身体障害者福祉大会

5日 健康福祉まつり

1日 市救急業務開始三十周年記念式典

12月

28日 地区障害者フェスティバル

27日 白保沖縄開発総括政務次官祝賀会

25日 名勝川平湾・於茂登岳保存管理計画策定委員会

18日 大浜中学校体育館起工式

17日 沖縄サミット八重山地区地域安全協力会開催

16日 あすの地域づくりを考えるつどいがスタート（市内五地区で開催・30日まで）

16日 国保税納付促進月間パレード

13日 県立八重山病院創立50周年式典

12日 西海区水産研究所石垣支所落成

11日 名蔵公民館入植50周年記念式典

11日 全国漁港管理担当者会議

6日 石垣島まつり・八重山の産業まつりを開催

6日 稚内市横田市長来島

5日 蘇澳鎮李鎮長一行が来島

郷土芸能の奥深さを引き出す

十三の絃が奏でる 箏曲(琴)の調べ



「琴(こと)」は古くは弦楽器の総称で「あずまこと」「びわのこと」等のように、タイプの異なる弦楽器各種を「こと」とよんでおりましたが、一般的には箏(そう)とよばれます。

箏(そう)は紀元前五世紀頃に秦(しん)の国で生まれたとはいわれ、日本には奈良時

代に十三弦の箏(そう)が伝来し、雅楽の管絃の編成楽器として用いられておりました。その後、室町時代に雅楽と中国の七弦琴の音楽の影響下において、九州各地に広まり演奏され、筑紫(ちくし)流箏曲(筑紫箏)が確立しました。

近世箏曲の確立には筑紫流

箏曲を学んだという江戸時代初期の八橋検校(やつはしけんぎょう)らが尽力しました。彼は都節(みやこぶし)音階の平(ひら)調子の調絃法を案出し、近世音楽としての基礎を確立しました。

その後、十七世紀後半から十八世紀にかけて八橋の流れを組む盲人音楽家の間で八橋流、継山流、生田流等の流派が成立しました。

古い伝統の歌や踊りが庶民の暮らしの中に生きていた沖繩に箏(そう)が伝来したのは十八世紀の初めで、稲嶺盛淳が薩摩よりもたらした歌三味線に伴奏として用いられ広められたといわれています。

八重山の旧家には、古い時代の箏(そう)が残されていたようです。

八重山におけるの箏(そう)は、十九世紀の初頭に沖繩本島を経由して伝来されたといわれています。

当初、箏の演奏の正しい記録がなかったため工四作製の機運が高まり、大正五年頃に大川村の宮良長智さんが手掛けましたが、編集途中で他界しました。この系譜は、字

石垣の富島妙子さんへ正しく継承されました。

富島さんは、沖繩本島へ趣き、琉球箏界の重鎮であった方々の指南を受けて箏演奏の基本を極め、その後琉球箏曲の研鑽を積んで、本格的な編集作業の末、昭和四十一年に「八重山古典民謡箏曲工四」を完成しました。

県内で箏曲が盛んに普及し始めたのは一九五七年に琉球箏曲保存会が結成されたことにはじまります。その後、本島から宮古、八重山は勿論のこと、海外移住者の多いブラジルやハワイへも広がりました。

かつて、箏(そう)は舞台芸能として主に三味線の伴奏楽器として位置づけられておりました。

近年では市内の各研究所において鍛練を積み重ねる門下生も増えて発表会等も開催出来るようになり、箏曲の持つ優雅な調べが郷土芸能の奥深さを引き出しているようです。

【参考資料】琉球箏曲声楽譜付工四中巻(琉球箏曲保存会編)・八重山古典民謡箏曲工四上巻(富島妙子編)

障害児教育 相談事業

沖繩県立教育センターの特殊教育課においては、障害のあるお子様やその保護者、関係者の皆様への支援を目的に「障害児教育相談」を実施しております。後ろから呼びかけても振り向かない場合や、指示や話の内容が理解できない。

また、手足や体の動かし方がぎこちない場合や発音が不明瞭で話がぎこちない、落ち着きがない

集中しない場合などの状況があればご相談下さい。相談の際は電話で予約することが必要です。相談は無料で秘密は固く守られます。

【相談内容】

- ① 家庭における養育や躱け
- ② 各種検査(心理・機能)
- ③ 障害に応じた早期教育や訓練・就学や進路
- ④ 専門医による診断や検査

【相談の対象】

乳児から高校生の保護者等

【相談の日時】

月曜日から金曜日まで
午前9時から午後5時まで

【問い合わせ】

県立教育センター
☎〇九八一―九三三―七五五

なぜ飲むの 飲んでハンドル なぜ持つの

年末年始は交通安全に気を付けましょう

年末年始の期間は、忘年会・新年会などで飲酒の機会が多くなります。また、交通量が増加し、道路の渋滞や市街地での混雑が予想されます。

このような時期には交通事故の多発が心配されます。

石垣市と石垣市交通安全推進協議会では、12月21日から平成12年1月4日までの15日間、「年末年始の交通安全県民運動」が実施されるのに伴い、交通安全運動を展開し、悲惨な交通事故を防止する運動を展開します。

市民総ぐるみによる交通安全運動を展開し、市民一人ひとりが交通ルールを守り、安全で住みよい社会づくりに協力しましょう。

〈運動の重点項目〉

- ①飲酒運転の徹底追放 ②交差点における交通マナーの向上 ③自転車のマナーアップ

石垣市奨学生を募集しています

石垣市教育委員会では「石垣市奨学生」を下記のとおり募集しています。応募者数は若干名で所定の様式により一括取りそろえて提出して下さい。

【応募資格】

石垣市に5年以上引き続き居住している石垣市民の子弟で、学歴成績優秀で心身ともに健康であり、学資の支度が困難と認められる者。

また、他の奨学資金等の貸し付け、又は給付を受けていない大学生及び専門学校生であります。

【貸し付け額】

自宅通学（月額3万円） 自宅外通学（月額5万円）

【出願用紙配付期間】

平成12年1月11日～3月31日（土・日曜日除く）

【申請願書受付期間】

平成12年4月10日（月）～4月25日（火）の間、（土・日曜日は除く）

【問い合わせ】石垣市教育委員会学校教育課 ☎2-4701

沖縄県の最低賃金 地域別最低賃金 産業別最低賃金

沖縄県内の使用者は、この最低賃金額より低い賃金で労働者を使用することはできません。

地域別最低賃金と産業別最低賃金の日額と時間額は次のとおりです。（カッコ内は効力が発生した年月日です）

《沖縄県最低賃金》

【日額】 4,757円 【時間額】 595円（平成11年10月1日）

《畜産食料品製造業》

【日額】 5,080円 【時間額】 635円（平成11年11月28日）

《糖類製造業》

【日額】 5,142円 【時間額】 643円（平成11年12月1日）

《清涼飲料・酒類製造業》

【日額】 5,086円 【時間額】 636円（平成11年12月2日）

《新聞業》

【日額】 5,394円 【時間額】 675円（平成11年12月10日）

《各種商品小売業》

【日額】 4,995円 【時間額】 625円（平成11年12月9日）

《自動車・新車・小売業》

【日額】 4,990円 【時間額】 624円（平成11年12月5日）

【問い合わせ】

沖縄労働基準局 賃金課 ☎(098)868-3421

八重山労働基準監督署 ☎2-2344

平成11・12年度

建設工事・測量及び建設コンサルタント等 入札参加資格審査申請の追加受付

- ① 受付期間：平成12年2月1日（火）から
平成12年2月29日（火）まで
- ② 受付場所：石垣市役所検査室
- ③ 提出書類：沖縄県様式又は建設省統一様式による
- 【問い合わせ】石垣市役所検査室 ☎2-1555（直通）
内線440.441

法人・個人事業者の皆様に

消費税・地方消費税の正しい納税

納税は社会の基本的なルールです。特に、消費税・地方消費税は最終的には消費者が負担する税で、いわば預かり金的な性格を有するものです。

日頃から納税のための資金手当てや納付の期限に十分注意し、期限内に正しく申告・納付して下さい。

納期限を過ぎると延滞税がかかります。また、滞納となつたままにしておくと、債務差押えなどの滞納処分を受けることになります。

納付期限などについては、最寄りの税務署、税務相談室へ問い合わせして下さい。 【沖縄国税事務所・税務署】

市立幼稚園 園児募集

石垣市教育委員会では平成12年度の石垣市立幼稚園の園児を下記のとおり募集します。

詳しいことは石垣市教育委員会学校教育課、又は各幼稚園にお問い合わせ下さい。

【募集期間】平成12年1月25日（火）～1月26日（水）
午後2時から午後4時までの間

【申込場所】各幼稚園

【通園区域】各幼稚園区（小学校の校区に準じる）を守って下さい。

【入園手続】本人同伴で住民票抄本（入園児）1通、印鑑、ハガキを持参して下さい。

【問い合わせ】石垣市教育委員会 学校教育課
☎2-4701 2-2604 石垣市美崎町16-6

農業委員選挙人名簿への登載を忘れずに

登載申請は1月10日まで

農業委員選挙人名簿は毎年作成されることになっており、毎年1月10日までに農業委員選挙人名簿の登載申請をすることになっております。

選挙人名簿の登載申請用紙は、地域の農業委員宅及び農業委員会事務局で準備されております。

【農業委員選挙人名簿登載要件】

- ① 石垣市内に住所を有する者であること。
- ② 年齢が満20歳以上の者であること。
- ③ 次のいずれかに該当する者であること。
 - (1) 10アール以上の所有農地につき耕作の業務を営むもの、または正当な権限に基づいて耕作の業務を営む者であること。
 - (2) 耕作の業務を営む者の同居の親族または、その配偶者で60日以上耕作に従事している者。
- ④ 10アール以上の農地について、おおむね60日以上耕作の業務を営む農業生産法人の組合員または社員。

【問い合わせ】石垣市農業委員会事務局

☎2-1563(内線 380)